

キク科

コウリンカ

Tephrosieris flammea (Turcz. ex DC.) Holub subsp. *glabrifolia*
(Cufod.) B.Nord.

兵庫県ランク… A
環境省ランク… VU

■ 県内分布

西播磨、但馬、丹波

■ 国内分布

本州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

7-8年前に写真が撮られているが、その場所では確認できなかった。草原の管理形態の変化やシカの採食が影響している可能性がある。

■ 保護上の留意点

生育地である草原環境の保全が重要である。

■ 種の概要

日当りのよい山地の適湿の草原に生える多年草。茎は直立し、下部は枝を出さず、高さ50-60cmになる。下部の葉は広倒披針形で長さ10-16cm、幅18-35mm。中部の葉は披針形で、基部は茎を抱く。花は7-9月。頭花は6-13個、やや散状につき、径3-4cm、長い舌状花があり、反り返って咲く。